

畑石議員（自民議連）

令和3年2月26日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）高等学校再編の全体像について

学校再編に当たり、県教委は、学校数や教員配置など全体像を示し、広島市、私立と在り方を協議、再検証した上で、再編計画を策定すべきと考えるが、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

県教育員委員会は、高等学校教育の普及及び機会均等の確保の観点から、私立、市立及び国立高等学校の配置状況を考慮しつつ、全県的な視野に立って教育を提供することが求められているものと認識しております。

このため、「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」につきましては、市町教育委員会や私立学校関係者等に幅広い議論をしていただき、平成26年2月に策定したところでございます。

現在、Society 5.0時代が到来しつつあり、デジタルトランスフォーメーションが進展するなど、社会の在り方そのものがこれまでとは劇的に変わりつつある中で、高等学校教育の在り方も見直していくことが必要と考えております。

今後の生徒数の動向や、デジタル化の進展といった学校を取り巻く環境の変化などを踏まえ、市町教育委員会や私立学校関係者等と緊密に連携し、学校数や教員配置等も含め、次期計画の策定に向け、検討を進めてまいります。